

春里地区センター はつらつ(認知症予防教室) 日誌

日時 令和 5年 8月 22日 火曜日 13:30~15:00 天候 晴れ

チームN	中津 須田 尾関
------	----------

1 スケジュール

プログラム名	備考
挨拶 HWリアリティオリエンテーション 姿勢・発声トレーニング (須田)	
ストレッチ・筋トレ (須田)	
認知症予防講座 (のぞみの丘ホスピタル 認知症予防専門士 中津智広)	事務・写真撮影 運営スタッフ
コグニサイズプログラム (須田)	
挨拶	

2 認知症予防講座 (俗称: プチ講座)

講座名	内容
認知症の方との関わり方に ついて～認知症看護視点から～	
担当	タイトルは認知症の方との関わり方…今回は、BPSDにより入院治療が必要な方を治療・看護・リハにて支援する目的の認知症治療病棟の説明を行う。認知症で問題とされるのがBPSD。中核症状に心理的・身体的・環境的な要因が加わり、認知症の方の混乱につながってしまう…対応方法は、その方の世界を理解することが大切！！早期での治療が大切であり、支えるご家族には…「早く、専門の医療機関に相談を！」とメッセージ。認知症の専門治療病棟の機能を地域の方に発信される良き機会となった。法人が担う認知症に関連する様々なサービス（機能）は、全てつながっていなければ成立しない。
のぞみの丘ホスピタル 認知症予防専門士 中津智広	
時間	14:20~14:45

3 コグニサイズメニュー

内容
足踏み + 数唱 (数字の課題にて上肢操作・手拍子)
足踏み + 作業記憶課題 (じゃんけん+ルール) ストループ課題 (文字・色の識別)
足踏み + 空間認知課題 注意課題 言語課題 計算課題
1人で行うコグニサイズと感染対策を徹底し対面（ペア）でのコグニサイズ。

4 その他メニュー

バイタルサインプログラム①	→ 受付にて検温・問診
バイタルサインプログラム②	→ 血圧測定
教室の説明 スタッフ紹介 :	可児市高齢福祉課より説明
相談 ⇒	参加者さまからのニーズに合わせて対応 包括スタッフに随時報告

5 反省・次回の予定など

2023年度 前期の可児市 認知症予防教室事業「はつらつ」が開催される。基本的な感染対策を行いながら教室運営。マスク着用は個人判断であるものの、皆さんの感染対策意識は高く、手指消毒、換気やソーシャルディスタンスにも気を配りながらトレーニングを実施。運動に伴う体調変化や転倒予防も常時、気を付けていく。



参加者数		
性別	男性	女性
人数	3	16
合計		19
／ 30名中		見学者 数名

見学者 数名

6 参考資料・教室の様子など

基本的な感染対策を講じながらの教室開催！！

認知症予防教室メニュー

- リアリティーオリエンテーション
- 筋トレ・ストレッチ
- プチ講座
- コグニサイズ（コグニラダー）

本日の コグニサイズメニュー

① ○と○の倍数で 拍手 + 足踏み 1～30
② 計算をしながら + 足踏み 0/100から 3ずつ 引く (1分間)
0/100から 7ずつ 引く (1分間)
③ じりじりをしながら + 足踏み 4人までは 6人のグループ。
最初の方は... 説明日 月日が
始めるところは、は

脳の病気

脳に原因がある
原則、元に戻らない

認知機能の障がい

病気の場所により多様
色々なことが出来なくなる

生活障がい

生活に困る

第14回 プチ講座

講師： のぞみの丘ホスピタル 理学療法室長／認知症予防専門士 中津智広

認知症治療病棟について！

認知症治療病棟に従事される看護師さんの想いを代弁！
実践的かつ「安心」を提供する内容の講話！